

関西支部の

= 活用論文・実践記録集への投稿方法 =

投稿する論文の内容を、次の範囲に分けて募集します。

A. 論文

(『TA 実践研究』投稿を目指し、ガイドブックp97のテンプレートに従うもの)

B. 実践記録

(TAの活用・実践を記録したもので、論文形式に従わなくてよい)

C. 研究ノート

(TA及び周辺理論を学習した記録をまとめたもの)

*論文を投稿してみようと考えておられる方は、支部 info@takan31.com にメールで申し込んでください。

(そのまま書き込めば良いA4のテンプレートを添付ファイルで送ります)

また、上位資格(教授・准教授)の取得を目指す方は、論文支援委員会が応援させていただきます。どうぞ、お気軽にご相談ください。

投稿者

A~Cの内容で、事務局に投稿する(随時)

支部(論文支援委員会・事務局)

事務局から論文支援委員長に転送する

委員会で査読する(投稿者とやり取り)

投稿論文一覧(HP)に追加(随時)
(執筆者名とタイトル・要旨)

支部大会で資料配付(~3/31投稿分)
(投稿論文一覧と受取る方法)

関西支部
論文支援委員会



=活用論文・実践記録集= 投稿論文一覧



1. 地域活動 みなみ FC らぼ

「苦手・嫌いな人との人間関係改善」ワーク作りの取り組み

交流分析士インストラクター 鶴田 美香 竹田 典

地域活動推進の取り組みテーマとして、みなみ FC らぼ（南大阪・八尾・和歌山）では TA・交流分析の外部講座のワーク作りを柱とした活動を行うことにした。

TA・交流分析を学んだことのない方に対して分かりやすく、受け入れやすく、視覚にうったえる参加型ワークを意識して作成した。ジャンルは自我状態。テーマは「苦手・嫌いな人との人間関係改善」。

研究方法として、1.2 級勉強会、京都地域「らぼぼじ」へ出向き会員に体験、インタビュー、アンケート、ワーク資料の提供を受けデータ収集、結果検証を行った。

2. 「人生のジグソーパズル」を統合するときを迎えて

～E.フロム、E.H.エリクソン、E.バーンから学んだピースを基に～
交流分析士 教授 山本 昭一

私は E.H.エリクソンのライフサイクルで言えば「統合 vs 絶望」という心理・社会的危機（課題）のときを迎えています。今までの人生で、出会った人や取り組んだこと、思い出や出来事・・・というピースを、一つひとつ「人生のジグソーパズル」に当てはめて（統合して）いるときです。

エリクソンが最後の著書『ライフサイクル、その完結』で述べているように、「希望」という杖を支えに人生を統合することで、最終章の「老人的超越」を迎える準備ができていると思っています。この機会に自分のもっているピースの整理をしながら、80 代からの最終章を迎えていきたいと思っています。

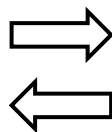
上記の論文を読みたい人

支部事務局

info@takan31.com に、

メールで希望の論文名を

書いて送信を要請する



支部事務局から希望の論文を

PDF で送信

(CC で委員会にも同時送信)